

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	障害、性別、年齢(70歳)などによる差別を防ぐ教育(共育)制度の構築を進めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	社内規定を制定し、運用している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	7.5時間労働を目指している。									8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在、帰化労働者はいるが取締規定を守って就業している。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	国際規格食品安全マネジメントシステムISO 22000:2005、健康補助食品GMPの認証を受け、規範の中で全て運用している。								3		8							
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	【予定】社内環境の整備により発生の抑止に努めている。将来医療機関とのタイアップも考えたい。								3									
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	70歳雇用を決めている。年代、労働者の状況に合わせて対応している。女性管理職・活躍の促進を強化している。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	県機関が実施している講習会やスキルアップ講座等には、関係担当者を積極的に参加してもらっている。					4	5.5			8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	対応している他、一部基本賃制度+職能給を取り入れている。						5.5			8.5		10.2 10.3						
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	労働安全衛生法に基づき、労働安全衛生管理者を工場に置いている。健康診断の徹底と定期的な検便の他、社内優遇販売制度も設けている。								3		8							
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄業者による定期的な処理をしている。											11.6	12.4		14.1			
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	近隣の社員は徒歩や自転車を推進。駐車場でのアイドリングは厳雪期を除きストップ。									7.3				13				
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】専門業者により測定します。自社の排ガスの実態を把握する。										7.2 7.3			12.4	13.3			
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	専門業者に処理を委託している。							3.9		6.3			11.6	12.4				
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	処理層を設ける等対策に取り組んでいる。									6.6						15		

16	<ul style="list-style-type: none"> <li>【3Rの推進】</li> <li>・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる</li> </ul>	基本	<p>特許を取得している細胞壁破壊技術は、捨てる場所をなくそうという根本的な勿体ない精神と、身体にいい成分を吸収しやすくするために研究した製造方法で製造に取り組んでいる。</p>												12.5		14.1			
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>【水の管理】</li> <li>・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる</li> </ul>	チャレンジ	<p>湧水の利用と環境改善をすすめている。</p>					6.4	6.6											

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18	〇	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	環境整備部門を作る。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19	〇	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】雑排水の処理槽を設けて河川の汚染を取組んでいるがお客様への開示はしていないのでHP等で情報提供していく												12.6						
20	〇	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】急激な増水・流水に対し大排水の方へ流れるよう水路の確保をしたい。							7.2						13					
21	〇	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	地元産農産物を利用し、より付加価値を高めた加工生産(健康食品)を持続的に実施している。												12.2	13	14	15			
22	〇	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	取締役規定の周知徹底により未然防止に努めている。																	16	16.5
23	〇	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	毎月の会議で確認をしている。																		16
24	〇	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	法務部と法的機関とのコラボを密にして、知的財産権の保護に積極的に努めている。									8.2	8.3	9							
25	〇	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	管理本部を設けていますが、より管理部門を強化して、関連書類、情報の漏洩防止規定を作っている。																		16
26	〇	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	原材料のサプライヤーを全て把握・データ化し共有している。																		16
27	〇	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	契約書にて内容の範囲内で双方の尊重に努めている。社内規定を設け防止に努めている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
28	〇	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	国際規格食品安全マネジメントシステムISO 22000:2005、健康補助食品GMPを全ての規範として、商品の安全はもとより、人体の健康に与える影響が無い旨の確認の検査・研究を大学機関で行っている。			3.9										12.4					
29	〇	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	国際規格食品安全マネジメントシステムISO 22000:2005、健康補助食品GMPの製造規範に基づき、常に正確な情報の提供、把握に努めている。										9								
30	〇	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	残渣を残さない製品開発を基本として、製品設計・策定を推奨し取り組んでいる。						6							12	13	14	15		
31	〇	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	食べ残しを出さない食物全体が食べれるホールフーズの開発を続けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域活性化に向け雇用だけでなく伝統文化の継続的な継承も取り組んでいる。【予定】地域の働ける場所の確保と人材の確保を行政とタイアップしていく。				4							9		11	12			14	15			17		
33	地域貢献	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	ソーシャルインパクトを社訓として何が地域に役立つか、地域の文化活動を積極的に協力している				4										11					14	15			17
34	地域貢献	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域農産物(市場に出せない不良品)を発酵技術を駆使して地場産業物の利用で推進している。											8	9		11	12	13							
35	組織体制	【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	基本理念・社是を朝礼にて全員唱和と社員に対する経営方針の共有をしている他、毎月売り上げも課題も共有している。											8	9											17
36		【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	国際規格食品安全マネジメントシステムISO 22000:2005を基本に据えてコンプライアンスの徹底と定期的な勉強会の実施をすすめている。販売においてパッケージへの表記も保健所へ相談したり法令を守っている。																							16
37		【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	国際規格食品安全マネジメントシステムISO 22000:2005内や内部・外部発信について担当発信をしている。																							16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	末端の消費者の方に対しては相談窓口を設け対応し、社内共有を徹底している。																						16	17
39		【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	国際規格食品安全マネジメントシステムISO 22000:2005内や随時企画部門にて確認と対応をしている。																							16
40		【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	雇用や社会貢献などの活動は取り組んでいる。【予定】CSRの方針を見直し、整備をすすめる。																							16
41		【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】早急な課題なので関連機関と相談をしながらすすめていく。													9		11			13 13.1				16	
42	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者が決まっているので社内容等を関係者と相談しながらすすめていく。【予定】後継者は創業者の思いや背景を学び、内部だけでなく外部でも経営の勉強に取り組んでいく												8	9										17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
健康維持増進に貢献	製造している姫マツタケという茸は抗エイズ、抗腫瘍など多様な研究エビデンスがあり、特許も取得している。これを用いた健康食品を開発しあくまでもサプリメントとして健康維持増進に貢献している。			3, 3 3, 4															
情報発信 (ネットワークの構築)	自社の経営理念や貢献事業などを発信し日本だけでなく海外のお客様のお役に立てれるようにホームページにて随時魅力発信をしている																		17
次世代リーダー共育	自社内、長野県内だけでなく全国の経営者・後継者と高め磨き合える環境を中小企業家同友会の中で取り組み未来づくりを進めている				4, 4														17, 17
生態系の回復・環境整備	新たなお花や木を植えて生態系の回復を計っています。																15		

**【記載留意事項】**

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）